

55周年記念委員会

- 担当副理事長名：二見 宏史
- 委員長名：村山 大輔
- 副委員長名：松永 充広
- 委員名：竹村 眞、永田 磨梨奈、成瀬 英治朗、春山 真寛、
松原 洋平、吉田 健次
- 作成者名：村山 大輔

1. 委員会活動方針

明るい豊かな社会の実現を目指して、鎌倉青年会議所がこれからも長く継続的にまちづくり運動を続けていくためには、これまでの当会議所の歴史を築きあげてこられた諸先輩方、それに共感してくださった市民の皆様との強いつながりを含め、今まで以上にもち続ける必要があります。さらに、これまで当会議所の活動や歴史を知らなかった市民の皆様に対しても、少しでも広く認知していただき、共感を得ることが重要だと考えます。

当委員会は二つの事業を軸に1年間活動します。まずは、鎌倉青年会議所の誕生日を祝い、これまでお世話になった諸先輩方に対して敬意を表すると共に御礼を申し上げ、共に交流を深めながら長きに亘る運動を振り返るメモリアルデーを行います。次に、新しい時代に合った手法と工夫により、市民に当会議所を認知・共感してもらうための記念事業を行います。この事業を当会議所が主催することにより、市民の皆様が当会議所を知っていただき、活動に共感してもらい信頼を深めていただくきっかけとします。さらに、様々な青年会議所活動を行う際に市民の皆様がわかりやすく認知して頂けるように記念品を作成します。最後に、記念誌を発行し、これまでの55年間の運動の歴史を振り返ります。その中で5年ごとの周年事業という位置づけとして直近5年間の運動を中心にご報告させていただきます。関係諸団体の皆様からの理解を深め、今後の当会議所の運動の一助とします。

当委員会のこれらの取組みにより、会員自身がまちに必要とされる団体の一員としての自覚を持ち、市民の皆様や諸先輩方からの信頼と応援を頂きながら、まちづくり運動を率先して行動し続ける事につながります。さらに市民の皆様にはこうした活動を通して当会議所の活動への共感の輪が広がり、当会議所がまちにとって必要とされる団体であり続けられることに繋がるものと確信します。

2. 委員会事業計画

(I) 交流事業の開催

- (a) 内 容：メモリアルデーの開催
- (b) 時 期：2019年 3月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 市民に当会議所を認知・共感してもらうための記念事業の開催

- (a) 内 容：55周年記念事業の開催
- (b) 時 期：2019年10月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) 55周年記念誌の作成

- (a) 内 容：55周年記念誌の作成
- (b) 時 期：2019年1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びにOB、関係諸団体
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(IV) 記念品の作成

- (a) 内 容：記念品の作成
- (b) 時 期：2019年5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに新入会員
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大
- (b) 渉外事業への参画、参加